



栃木市議会議員

こだち孝之の きになる NEWS



No.13

発行責任者
 栃木市大平町富田898-4
 日立GLS労組栃木支部内
 電話 0282-43-3039
 小太刀 孝之
 編集者 池田 祐生

令和7年度の最初となる6月定例議会が6/6(金)～6/26(木)の会期で開催され、主な議題は令和7年度一般会計の補正予算でありました。以下、内容について報告させていただきます。



6月定例議会で決まった主な議案

一般会計補正予算 (第1号)

議案第78号
 令和7年度一般会計補正予算
 (第1号)

可決 全会一致

【議案の概要】

歳出・歳入予算それぞれ8億1,158万5千円を追加し、予算総額を756億4,158万5千円とするもの。

補正予算の主な内容 (いずれも増額補正)

- ・定額減税補足給付支給事業費
- ・認定こども園施設整備費補助金
- ・稲等病害虫防除事業費補助金
- ・学校給食事業費

小太刀が行った質疑 (総務常任委員会)

『歌麿を活かしたまちづくり事業費について』

Q：大河ドラマPR冊子の配布先は？

A：10月に開催予定の歌麿まつりで3万部、市内公共施設で1万1千部、大河ドラマ関連の関連自治体である東京都台東区、静岡県牧之原市および福島県白河市に計9千部を配布することを想定している。



ため池決壊防止

議案第92号
 土地改良事業の施行について
 (大柿西溜地区)

可決 全会一致

【議案の概要】

ため池の決壊による水害から市民の生命・財産を保護するため、農村地域防災減災事業の施行にあたり、緊急防災工事計画の概要を定めることについて議会の議決を求めるもの。

主な質疑内容

Q：過去に大柿西溜の決壊などで住宅等が被害を受けたことはあるのか？

A：これまで被害の報告は受けていないが、危険が及ぶ可能性があることから、特別措置法に基づき工事を進めるものである。

決議案第2号

古沢ちい子議員に対する問責決議

賛成 15

反対 11

可決

小太刀は賛成しました

【決議案の概要】

民生常任委員会副委員長の立場にありながら、令和7年2月18日の陳情者の意見陳述の場において、陳述者と委員の質疑応答中にも関わらず、途中退席した。また、6月議会における副議長選挙時の質疑応答において、令和6年8月2日開催の議員研究会を欠席し私的観光旅行に行ったことを認め、欠席理由が虚偽記載であったことが後日判明した。自身がとった一連の行動に猛省を促すと共に、その責任を問うもの。

※議会だより66号に詳細が記載されます

一般質問報告

令和7年度6月定例議会にて、6月10日に一般質問に登壇させて頂きました。今回の一般質問では、2月に開庁した都賀総合支所複合化による効果等について、中学校における屋外部活動の雷対応について、栃木桜守り人事業について質問を行いました。

以下、一部の質問内容をご報告させていただきます。

(議会日より第66号にも掲載がされますので、そちらもご覧ください)

※6月議会は14名の議員が一般質問に登壇しました。



◆都賀総合支所複合施設整備の効果等について

- (1) 複合化による縮減した床面積について
- (2) 将来の更新費用の推計と
今回の総事業費との比較について
- (3) 施設複合化による効果について
- (4) 来庁者の推移について
- (5) 改善点および課題について

◆中学校における屋外部活動の雷対応について

- (1) 現状のガイドラインについて
- (2) 雷に関する情報収集と
活動停止の判断基準について
- (3) 部活動地域移行に伴う
周知徹底について

◆栃木桜守り人事業について

- (1) 被害状況と対策状況について
- (2) 具体的な事業計画および進捗について

【質問】

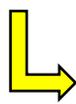
本市には数多くのさくらの名所が各地域に点在し、大平山桜祭りにおいては日本桜の名所100選にも選ばれている。しかし、近年クビアカツヤカミキリと思われる食害被害が年々増加し、桜が枯れる症状が至る所で確認がされている。また、同時期に植樹された桜の木の老朽化が進行している箇所も見られる。中でも、大平町の通称「さくら通り」の被害が年々拡大し、今年に入り十数本が伐採されたほか、残っている桜の木もほとんどがクビアカツヤカミキリと思われる被害により樹勢が衰えている状況に、地域住民の方々も心を痛めている。現在、市が管理している桜の木の木数と、そのうち何らかの被害を受けている木の木数と被害木への対策状況を伺う。

【答弁】

栃木市が所管する桜の木の木数は、約6,300本となっている。令和7年5月時点でクビアカツヤカミキリによる被害を受けている本数は、約1,800本であり、桜全体に占める被害の割合は、約29%となっている。被害木が多い地域は藤岡地域で、何らかの被害が出ている割合は76.6%となっており、次に岩舟地域が39.1%となっている。比較的南部から被害が拡大している。

被害木への対策状況であるが、令和5年度、6年度計で令和7年5月時点では伐採が約170件、薬剤注入が約1,500件、ネット巻き(虫の拡散防止)が約400件となっている。

※一般質問の詳細は
こちらからアクセス



議員活動・市政報告会を開催

6月4(水)栃木事業所アネックス2Fに於いて、昨年に引き続き日立栃木グループ従業員向けの議員活動および市政報告会を開催しました。議員としての日々の活動や一般質問の内容、直近の栃木市の状況等を報告させて頂きました。貴重な定時退勤日にもかかわらず、80名を超える多くの方に参加を頂き感謝申し上げます。

